

「内水面水産試験場」

イワナ、ヤマメ、ニジマスなど、県内の川や湖にはたくさんの種類の魚が棲んでいます。
 今回は、そんな魚たちの調査や研究をしている「福島県内水面水産試験場」を訪問しました。
 「内水面」とは「海面」に対する言葉で河川や湖など、淡水領域のこと。どんな魚に会えるかな。長瀬小学校5年生のみんなといっしょに、見学してみましょう。



猪苗代町立長瀬小学校5年生の皆さんの好奇心です

1 この試験場では どんなことをしているの？

おいしい魚を安定して生産するために
 養殖やバイオテクノロジーの研究、
 飼育技術やウイルス病対策の
 指導などを行っています。
 また、魚の増殖や漁場を
 守るための調査研究も
 しています。

標本がいっぱい!



ブラックバスの駆除

ブラックバスは違法に持ち込まれた北アメリカ生まれの魚。
 繁殖力が強いので、福島県でも内水面漁業への被害や
 生態系への影響が心配されています。
 ブラックバスを駆除して他の魚を
 守るために、試験場ではいろいろな
 対策を研究、実践しています。



ブラックバスは、産んだ卵をオスが守ります。
 そのオスを捕獲するのも、駆除方法のひとつ。
 卵はコイやフナが食べてくれます。

コイヘルペスウイルス(KHV)病の対策

この夏、県内でコイヘルペスウイルスが発生しました。
 試験場では感染した場合の注意や対策について
 指導しています。

※ コイヘルペスウイルスは、人には感染しません。

2 魚を育てる飼育池を 見に行こう!

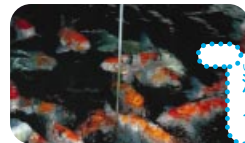
飼育池には、冷たい水と温かい水の2種類があります。
 冷たい地下水の池にはヤマメやマス、湖から引いた
 温かい水にはコイや
 ウグイ、フナなどが
 飼育されています。

かわいい!

「ワッ大きい!」50cmもある
 会津ユキマスにびっくり!
 採卵用の親魚だそうです。



池にいるコイは50歳ぐらい。
 100歳以上という長寿コイもいるらしい!



ウグイの池出し



この日はちょうど
 ウグイの池出しの日。
 卵からふ化したウグイの
 稚魚15万匹を飼育池に
 放す作業が行われます。
 まずは長靴を消毒して
 孵化棟へ。



水槽がいっぱい!